

投票番号
8

SANKA海と森

- 西浦の「The Old Bus」と周辺施設を会場に、音楽や飲食、アートを楽しむ野外イベントを開催
- 地元店舗、アーティストと連携し、自然と人、地域と来訪者がゆるやかに繋がる祝祭の場を創出



事業の
ねらい

- 地域の活力が低下している西浦エリアの魅力をイベントを通じて知らしめる
- 地域に新たな人の流れを生み出し、多様な世代が関われる開かれた交流の場を創出
- ボランティア参加や企画・準備段階からの参画機会を設け、関係人口を増加

事業計画書

事業名	SANKA 海と森
実施場所	The Old Bus
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 2026年 4月 13日 ~ 2026年 12月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。
海沿いの廃バス空間「The Old Bus」と「森のキャンプベース」「アトリエウミノイエ」を会場に、音楽や飲食、アート体験を楽しむ野外イベント「SANKA 海と森」を開催します。地元店舗やアーティストと連携し、自然と人、地域と来訪者がゆるやかにつながる祝祭の場を創出します。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。
西浦エリアを含む沼津市沿岸部は、美しい自然環境を有しながらも、人口減少や観光の通過点化により地域の活力が低下しつつあります。特に若者や地域外の人々が関わる機会が限られており、地元の魅力が十分に伝わっていないという課題があります。
本事業では、海・森・地域店舗などの資源を活かした音楽・飲食・アートの複合イベントを開催することで、地域に新たな人の流れを生み出し、多様な世代が関われる開かれた交流の場を創出し、持続可能な地域づくりの一步とします。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
<p>■4月～9月</p> <p>■10月</p> <p>■11月</p> <p>■12月</p>	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。</p> <p>※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出店者・協賛・出演者候補への声かけと調整・確定（オンライン：実行委員会） ・企画内容の骨子確定、初回全体ミーティング実施（オンライン：実行委員会） ・SNSによる告知開始（オンライン：実行委員会） ・補助金申請・各種許認可準備（実行委員会） ・タイムテーブルや配置図の確定（オンライン：実行委員会） ・スタッフ募集・ボランティアの調整（オンライン：実行委員会） ・物販（スウェット等）製作開始（オンライン：実行委員会） ・事前準備、事前WSの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・広報強化（SNS・メディア連携）（オンライン：実行委員会） ・設営準備（看板・電源・装飾など）（於The Old Bus：実行委員会） ・参加者申込み管理、当日のオペレーション設計（於The Old Bus：実行委員会） ・必要備品の購入・レンタル手配（オンライン：実行委員会） <ul style="list-style-type: none"> ・イベント本番（11月3日／予備日：11月24日）（於The Old Bus：実行委員会） ・当日運営（受付、誘導、音響、設営撤収など）（於The Old Bus：実行委員会、ボランティアスタッフ、出店店舗スタッフ等） ・アンケート実施、記録撮影（オンライン：実行委員会） ・事後ミーティング・報告書作成（オンライン：実行委員会） ・イベント後広報（オンライン：実行委員会） <ul style="list-style-type: none"> ・イベント後広報（オンライン：実行委員会） ・各種精算(オンライン：実行委員会) ・アンケートの整理(オンライン：実行委員会) ・KPTの確認、次回に向けてのミーティング(オンライン：実行委員会) <p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。</p>

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

本事業の実施により、沼津市西浦エリアの魅力が音楽やアート、飲食を通じて広く発信され、地域の新たなイメージ醸成と観光資源としての再評価が期待されます。また、地元店舗・クリエイター・来場者がゆるやかにつながることで、地域に根ざした交流と協力関係が生まれ、継続的なまちづくり活動の基盤づくりにも寄与します。さらに、若者や市外からの参加者を巻き込むことで、多世代・多地域をつなぐ「地域参加型の祝祭」のモデルケースとなり得ます。

<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数 目標：100～120人の来場者を動員（地元住民60%、県外・市外来訪者40%程度） →地域活性化・交流の規模感を数値で把握 ・地域事業者・出店者参加数 目標：飲食・ワークショップ・物販含め10店舗以上の地元事業者が出店・参加 →地域経済の活性化と関係人口拡大を示す指標 ・SNS・WEBでの情報拡散 目標：イベント告知のSNS投稿の閲覧数が累計10000件以上 →地域内外の認知拡大効果を測定 ・来場者満足度・リピート意向率アンケート 目標：参加者の80%以上が「満足」または「非常に満足」と回答、「次回も参加したい」と回答 →質の高いイベントとしての評価を把握し継続的な活動・発展性の指標とする 	<p>指標の 検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載してください。</p> <p>入場者カウント：当日受付で来場者数をカウントし、地元・非地元の内訳を問診票等で取得。</p> <p>出店者リスト・契約書：参加店舗数・団体を事前確認し、当日実績と照合。</p> <p>SNSモニタリング：公式SNSの投稿閲覧数をイベント期間中に集計。</p> <p>アンケート調査：QRコードで実施し、満足度やリピート意向を定量評価。 報告書作成時に分析し、数値を示しながら次回改善案を検討。</p>
-------------	--	---------------------	--

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的 必要性	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。</p> <p>本事業は、沼津市西浦地域の自然資源や歴史的な文化資産を活用し、地域の魅力づくりと活性化を目指します。野外ライブや体験型ワークショップ、沼津市内外からの人気の出店者、地域のみかん農家等の出店を通じて、多世代・多様な参加者が交流できる場を創出し、地域経済の促進に寄与します。地元事業者と連携し、観光客だけでなく住民や市民にも開かれたイベントとすることで、幅広い層に利益をもたらす質の高い取り組みです。</p>
地域性	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。</p> <p>本事業は沼津市西浦の特性である海と森、富士山の景観を活かした三拠点型のイベントとして企画しています。「The Old Bus」と併設のキャンプ場・多目的スペースを活用し、地域資源の利用を促進。地元のみかん農家の出店なども受け入れ、地元事業者が主体的に参加することで、地域の実情に即した持続的な運営を実現します。</p>
独創性	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。</p> <p>本イベントではThe Old Busを中心に据えた物語性と地域の自然体験を融合。音楽、食、ワークショップを通じて多様な体験を提供し、都市部からの訪問者に新たな価値を創出。地域の歴史や自然と現代文化が融合する独自の切り口を持つ点で新規性とチャレンジ性があります。</p>
実現性	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。</p> <p>本イベントは昨年にも実施され、開催地や出演者、出店者、運営スタッフは既に候補を確保し、ノウハウも積み上がっています。予算は現実的に算出されており、補助金以外の自己資金や協賛金も見込んでいます。地域関係者との調整も進めており、具体的なスケジュールに基づき、円滑な実施体制が整っています。</p>
発展性	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。</p> <p>本事業は単年度のイベントにとどまらず、地域内外の交流促進による関係人口の増加や地元事業者間のネットワーク強化を見据えています。実際に、昨年度も同様のイベントを実施し、多くの交流が生まれています。また、自立的運営のため、資金調達やファン形成にも積極的に取り組みます。</p> <p>イベント当日だけでなく、準備段階から多くの人に関われる仕組みを整え、関係人口の増加を図っており、ボランティア参加や企画段階からの参画機会を設けることで、地域内外の多様な人々が関わりしるを持ち、継続的に関係を築ける体制を構築していきます。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

次年度以降も、会場である「The Old Bus」や「森のキャンプベース」、「アトリエウミノイエ」といった地域資源を活用し、年に一度の定例イベントとして継続開催を目指します。イベントを軸に地元の事業者・農漁業者と連携し、新たな商品開発やサービスの創出を図るなど、地域経済とのつながりを強化。来場者からのフィードバックを活かし、毎年少しずつ内容を進化させながら、地域に根ざした文化・交流の定着を図ることで、地域活性化の持続的なモデルとして発展させていきます。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。

本事業は、来場者数が目標を上回り、来場者満足度および今後の参加意欲が非常に高い結果となった。アンケートでは参加者全員が満足と回答し、「人に勧めたい」「また来たい」といった肯定的評価が多数を占めたことから、本イベントが掲げる「多様な人々がゆるやかにつながる祝祭の場の創出」という目的は十分に達成されたと評価できる。また、来場者や関係者の多くが今後も関わりたい意向を示しており、地域内外に継続的な関係性を生み出すきっかけとなった。

一方で、より持続可能で開かれた事業とするため、以下の点を改善点として位置づける。

まず、イベント当日だけでなく、準備段階から多くの人に関われる仕組みを整え、関係人口の増加を図る。企画・運営・広報等に関わる機会を広げることで、地域内外の多様な人々が主体的に関与できる体制を構築する。

次に、運営資金の安定化を目的として、入場料の導入について検討する。参加者の満足度を損なわない範囲での料金設定を模索し、出店者・出演者・運営スタッフへの適切な謝礼が支ええる持続可能な運営体制を目指す。